

イベントでつながる地域と子どもたち



ふれあいまつりは17年続き、来場者も一日1800人を超える一大イベントです。



お年寄りから子どもまでが一緒になって、昔懐かしいペーゴマ遊び。

地域が支える「地域ふれあいまつり」

文花中学校生徒会・地区育成委員会

文花中学校では地域の育成委員会と生徒が一緒になって、毎年秋に「地域ふれあいまつり」を実施しています。校庭にゲームや食べ物などの出店が並び、吹奏楽部の演奏なども行われ、近隣の子供たちからお年寄りまでさまざまな方たちで賑わいます。生徒会長の久木元帆紀さんは「地域のみなさんがとても親切・丁寧に教えてくださいます。最初は(知らない方だったので)ちょっと怖いかな、と思ったりもしましたが...」とはにかみます。生徒会の皆さんが当日出た300kgものゴミの分別・片付けを行ってくれ、運営に参加する地域の方も「一番大変なところをやってくれてるんだよ。文花中の子供たちは本当に偉い!」と感心しきり。お互いが信頼し合うあたたかい空気が伝わってきます。

交流が生まれる「じゃがいも収穫祭」

京一旭町会・子ども会・みまもり隊

町会を中心に10年以上行っているイベントにじゃがいも収穫祭があります。町内の空き地でじゃがいもを育て、収穫してカレーライスを作って食べる会で、子どもも大人も集まって楽しいひとときを過ごします。最初は空き地でみんなが楽しめる何かをしよう、というところから始まったのだそうですが、じゃがいも栽培をすることによって、植え付け・水やり・収穫などで交流の機会が増え、それまでの不法投棄も減りました。

「収穫祭に来ませんか?」と町会役員やみまもり隊の方たちから一人暮らしの高齢者に声をかけます。この取組で近所のみなが顔見知りになり、防犯やひとり暮らしの高齢者の安否確認にも役立つそうです。



春には土を耕して種いもの植え付け作業。子どもたちにとっては初めての体験です。



暑い日差しの中、みんなで楽しくじゃがいもを収穫。この後はカレー作りです。